

# 受講者募集

## 聴覚障害者災害支援 サポーター養成講座

聴覚障害者は、災害がおきたとき、緊急放送やサイレンが聞こえず、何がおきているのか、またおきたこともわかりません。東日本大震災や阪神・淡路大震災では、停電でテレビやFAX・メールはつながらず、ラジオも聞こえない「情報が届かない」ために、多くの聴覚障害者が孤立しました。また、避難所や仮設住宅生活の中でもコミュニケーションの壁により、聴覚障害者が孤立しています。

そこで今回、(社)三重県聴覚障害者協会は、災害時や復興期において、聴覚障害者への支援活動が円滑に行えるよう、この事業を通して、聴覚障害者の視点に立った支援活動ができるサポーターを養成するとともに、地域社会への聴覚障害に対する理解の推進に取り組むことで、障害者や高齢者など誰にとっても暮らしやすいインクルーシブな社会づくりを目指します。

■日 程 10月6日(日)10:00~16:00(受付:9:30~)

※詳細は裏面カリキュラムをご覧ください

■会 場 三重県熊野庁舎5階 大会議室(熊野市井戸町371)

■受講対象 ①今後、災害支援活動や災害体制が構築された際に、地域で動ける方、または動いてみたい方  
②聴覚障害者団体、手話通訳・要約筆記者団体、手話・要約筆記サークルなど、聴覚障害に関係する団体に所属している方

■主な内容 ①講義『災害を知り、日頃から備えよう』  
②講義『災害時に支援してほしいこと 聴覚障害者からのお願い』  
③タウンウォッチング  
『まちあるき ~実際に歩いて防災マップを作ってみよう』

■参加費 無料

■その他 当講座は、共同募金配分金助成事業の配分を受けて、社団法人三重県聴覚障害者協会が開催するものです。

■お申込み 裏面に必要事項を記入し、下記の「お申込み先」までお送りください

募集定員  
30名(程度)

お申込み期限:  
2013年9月27日(金)

主催:社団法人三重県聴覚障害者協会 後援:三重県

お問い合わせ・お申し込み

社団法人三重県聴覚障害者協会

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館5F

TEL: 059 (229) 8540 Fax: 059 (223) 4330

E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

**社団法人三重県聴覚障害者協会 FAX： 059（223）4330**  
**聴覚障害者災害支援サポーター養成講座 FAX申込書**

フリガナ 参加者氏名				健聴者 ・ 聴覚障害者
対 象	① ・ ②(聴障者団体・手話通訳・要約筆記・その他)	性別	男 ・ 女	
住 所	〒                      ー _____			
連 絡 先	TEL/Fax:                      (                      )	e-mail: _____		

※記載された個人情報、本事業の運営以外の目的で利用することはありません。

時間	支援サポーターコース（5h）
9:30	受 付 開 始
10:00	開講 ◇事業説明
10:10 ～ 11:10	<b>講義 1</b> 「災害を知り、日頃から備えよう」 講師：三重大学 川口淳准教授
11:20 ～ 12:00	<b>講義 2</b> 「災害時に支援してほしいこと 聴覚障害者からのお願い【講義・手話学習】」 講師：(社) 三重県聴覚障害者協会 防災委員会
休 憩	
13:00 ～ 16:00	<b>タウンウォッチング</b> 「まちあるき ～実際に歩いて防災マップを作ってみよう～」 講師：三重大学 川口淳准教授  <b>講義 3</b> 「グループワーク」 講師：三重大学 川口淳准教授
閉講	

(参加されるみなさまへ) お申込みされるにあたり、以下の事項に同意した上でお申込みください。  
 ○当講座は、共同募金配分金助成事業の配分を受け、社団法人三重県聴覚障害者協会が開催するものです。  
 ○まちあるきの際は交通ルールを守り、周囲には十分注意するようにし、安全確認を徹底してください。  
 ○交通事故などに気をつけるとともに、睡眠不足や持病など、自己の健康管理に注意してください。  
 ○昼食につきましては、各自でご用意ください(会場周辺に飲食店やコンビニがあります)。また会場内でお弁当などご飲食は可能です。

■内 容 ※講座で使用するテキストは「手話で防災」です。

【講義1】 『災害を知り、日頃から備えよう』

災害に備えて、災害や日頃からの心がけや備えについて学びます。

【講義2】 『災害時に支援してほしいこと 聴覚障害者からのお願い』

災害時に聴覚障害者が困ることや、聴覚障害について知ってほしいことを学ぶとともに、聴覚障害者と少しでもコミュニケーションが取れるよう、簡単な手話を学びます。

【タウンウォッチング】 『まちあるき ～実際に歩いて防災マップを作ってみよう～』

実際にまちを歩きながら、よく観察することによって、災害への備えや身近な危険について気づき、考えるきっかけになることを、防災マップ作りを通して学びます。

【講義3】 『グループワーク』

完成した防災マップをもとに、まちあるき中に発見したことや、気づいたこと、感想などを自由に話し合います。